

産禅洞だより

■ 岐阜環境医学研究所・産禅洞診療所
 ● 呼吸器疾患・禁煙治療・漢方相談
 診 察 日：月曜・木曜・金曜
 受付時間：9:30~12:00
 〒502-0017 岐阜市長良雄雄878-16
 IP Tel:058-295-9545
 FAX:058-296-3903
 E-mail:zazendoh@ccn.aitai.ne.jp
 http://zazendoh.town-web.net/
162号 2017.9.1.
 毎月1回発行 産禅洞診療所 松井英介

日本の高校生、国連軍縮会議での演説できず

松井 英介

核廃絶 最多21万人署名

高校生大使、軍縮会議に提出



ジュネーブ軍縮会議の安全委員会
 2017年8月22日、スイス・ジュネーブ
 2017年8月22日、スイス・ジュネーブ

先月号でご紹介したように、「核兵器禁止条約」は、2017年7月7日、ニューヨーク国連本部での会議で、賛成122の圧倒的多数で、採択されました。アントニオ・グレーテル事務総長が語ったように、法的拘束力のある核軍縮関連の条約としては、実に20年ぶりの交渉成立。核兵器のない世界という共通の夢の実現に大きく貢献するきわめて重要な一歩が踏み出されたわけです。ウランを掘り出すところから、核廃棄物を処理する段階まで、ありとあらゆる核に関連する活動を禁止したところが、画期的です。

この条約は、今年の9月から国連加盟各国の署名が始まり、50か国以上の批准をもって、90日後に発効します。100か国以上が加盟する見通しです。

ところが、ここへきて、とんでもないことが起こりました。

スイス・ジュネーブの国連欧州本部で開かれた軍縮会議本会議でのことです。

8月22日この会議に参加した日本の高校生22人は、核廃絶と世界平和を訴える演説をする機会を、与えられなかったのです。

2014年から三年間、日本政府代表団の一員として、演説する機会を与えられてきたのですが、なんとということでしょうか、今年は実現しませんでした。

在ジュネーブ日本政府代表部は、本会議での高校生の演説について、「問題視する国があった」と見送った理由を説明し、日本政府が不参加を表明している「核兵器禁止条約」と、今回の決定は関係がないと述べたそうです。

語るに落ちるとは、まさにこのことを指すのではないのでしょうか。「問題視する国」とはどの国でしょうか？ アメリカ合衆国でしょうか日本国でしょうか。

高校生たちは、在ジュネーブ日本政府代表部で21日夕に開かれた高見沢将林・軍縮大使主催のレセプションで、招待された外交官や国際機関職員らに対して発言する機会を与えられたそうです。では、高見沢将林とは誰でしょうか。経歴をみると、78年東大法卒、防衛庁（現防衛省）へ。防衛研究所所長、13年7月官房副長官補などがあります。安倍首相の頭の中が透けて見えるではありませんか。